

# 篠田桃紅美術空間 からのお知らせ

## 次回企画展予告

4月2日(水)～6月29日(日)  
「文字へのまなざし」

篠田桃紅は、書の世界から墨による抽象表現へと歩んだ美術家です。戦後の桃紅は従来の書の規範にとらわれない自由な創造を求め、文字自体の造形性や象徴性に着目した作品を多く残しました。桃紅は文字を素材としながらも、その意味内容よりも作品全体を抽象絵画の文脈でとらえる視点に立ち制作を行ったのです。やがて文字からはなれて独自の抽象形態を見出していきますが、その過程で生まれた様々な文字の作品、文字のようで文字とも呼びがたいかたちの描かれた作品群は、新たな表現を模索し生みだそうとする意欲とエネルギーに満ちています。本展では、桃紅の転換期にあたる1950年代の文字表現を中心に、近年の文字作品と合わせてご紹介します。

※4月1日(火)まで展示作品入れ替え作業のため、臨時休館します。

入館料：高校生以上300円・中学生以下無料

休館日：月曜および祝日の翌日

開館時間：午前9時～午後4時30分

照会先：篠田桃紅美術空間 ☎23-7756 (事務室直通)



「餐」 1950～54年頃 142.0×95.0 cm

## ひとひと 女と男 ともに自分らしく生きよう

男女共同参画社会 Vol.46

### さんかくサポーターリレーエッセイ ⑩

さんかくサポーターって何？

サポーター会議では、お互いの持てる知識や経験を語り合うことで、関市の男女共同参画を推進するよう活動しています。誰でもいつからでも参加できます。毎月第4木曜日の午後7時からわかき・プラザの学習情報館2階で、定例の会議を開催しています。ぜひ、参加してみてください。

さんかくサポーターとは、いったいどんな人たちだろう。ドキドキしながらの最初の会議は、みんな優しい人たちばかりでホッとしました。

夏から秋にかけて開催した、「女と男さんかくセミナー」の講師もサポーター会議で決まりました。

内容、テーマ、チラシのレイアウトなど細かなこともみんなで相談していくと、どんどん良くなっていきました。「市民フォーラム」は、サポーターだけでなくセミナーの修了生など多くの方に運営ボランティアとして参加していただき、4回の会議での検討の結果、2月24日の男女共同参画市民フォーラムは、大盛況のうちに終了しました。

男女共同参画とは、男女がお互いを個人として認め合い、家庭・職場・学校・地域でいきいきと活動に参画し、ともに責任を負うことです。

<事務局 T>

<照会先>さんかくサポーター事務局

(企画政策課内) ☎23-6831